



たづがね

(鵲が音)

3月2日発行

笑顔いっぱい」「元気いっぱい」「夢いっぱい」の西北台っ子

感謝とお祝いの気持ちが溢れた6年生を送る会

2月22日(水)は、6年生を送る会を開催しました。

共に思い出を振り返り感謝する時間を児童と保護者の方、そして、地域の方と持つことができました。

鼓笛の引き継ぎ式も実施され今年度の指揮者から来年度の指揮者へ指揮棒の受け渡しと共に決意表明もされました。



PTA から準備された卒業記念品を針原会長から授与されました。

地域の方への御礼の気持ちを込めて感謝の会

6年生が手作りしたプレゼントをお世話になった方々に届けました。2月22日来校して下さった方々へは、全校児童を代表して直接6年生と1年生が感謝の気持ちをお一人お一人へプレゼントと言葉で届けました。その後、地域の方を代表して宮下一ノ宮公民館長さんより全校児童への温かいお言葉を頂きました。その中で11月に実施した「町自慢」のことに触れてくださりました。児童にとっても今年度取り組んだことに価値付けしていただける良い機会となりました。自分たちのことを地域の方が見守り、励まし、応援してくださっていることを感じることで、児童は、明日への頑張るエネルギーをいただきました。児童だけでなく、教員にとっても同じように明日への活力となりました。

感謝ということに関連して

感・・・全ての心が動くときにつかいます。

謝・・・自分の気持ちを言葉にして素直に邪心なく伝えるときに使います。

謝は、ごめんなさいとありがとうの両方の気持ちを伝えるときに使われる漢字です。感謝と聞くと「ありがとう」が強いです。「謝罪・謝る」と使うと「ごめんなさい。」の気持ちが強いです。私たちは、「すみません。」を「ありがとう」と「ごめんなさい」の両方で使うことがあります。例えば「見守り隊の人の言葉を聞かずにちょっと自分勝手な行動してごめんなさい。でも、毎日下校のときにきてくれてうれしかったです。ありがとうございます。」こんな自分の中にある「ごめんなさい」と「ありがとう」の気持ちを素直に伝えていけたらいいですね。